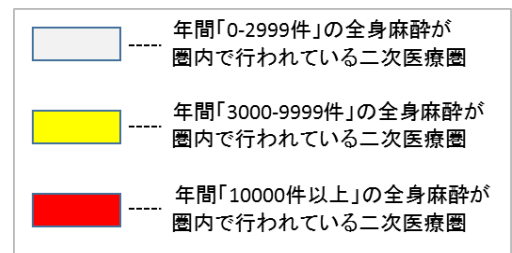
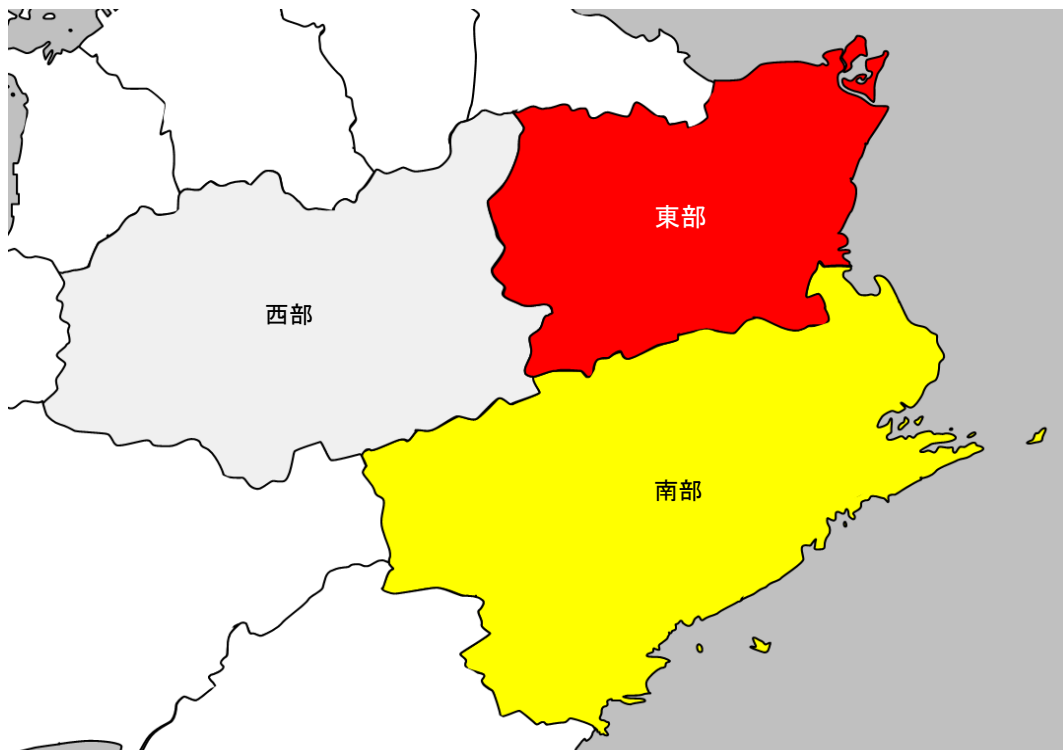


# 36. 徳島県

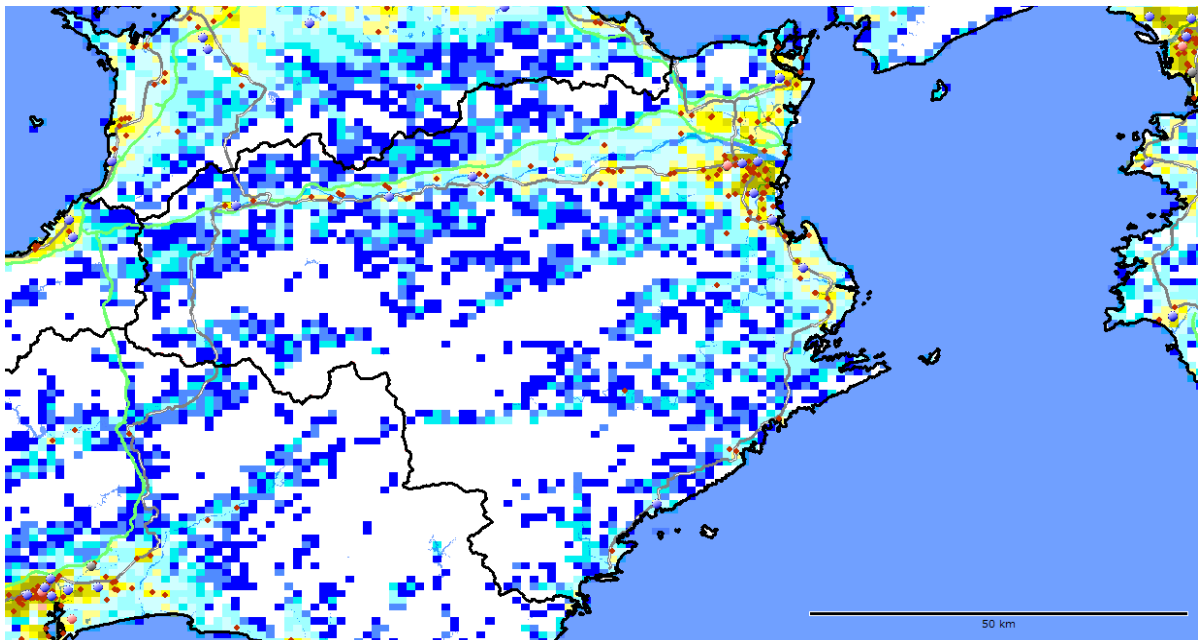


目次

徳島県	36	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	36	-	8
1. 東部医療圏	36	-	20
2. 南部医療圏	36	-	25
3. 西部医療圏	36	-	30

# 36. 徳島県

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (徳島県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 徳島県は、総人口約756千人(2015年)、面積4,147km<sup>2</sup>、人口密度は182人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 徳島県の総人口は2025年に688千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に574千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の121千人が、2025年にかけて143千人へと増加し(2015年比+18%)、2040年には140千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 徳島県の一人当たり医療費(国保)は395千円(偏差値61)、介護給付費は292千円(偏差値62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 徳島県の一人当たり急性期医療密度指数は1.12、一人当たり慢性期医療密度指数は2.27で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が58(病院医師数57、診療所医師数59)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は62と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は65と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値66と非常に多く、回復期病床数は偏差値62と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は60で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 徳島県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、13,038人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が8,399床(偏差値57)、高齢者住宅等が4,639床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、9,903人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設68、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設64、有料老人ホーム38、軽費ホーム44、グループホーム61、サ高住56である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値82と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、2,043人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

徳島県の総人口は、2005年809,950人が、2015年に755,733人と7%減少し、2025年の人口が687,680人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

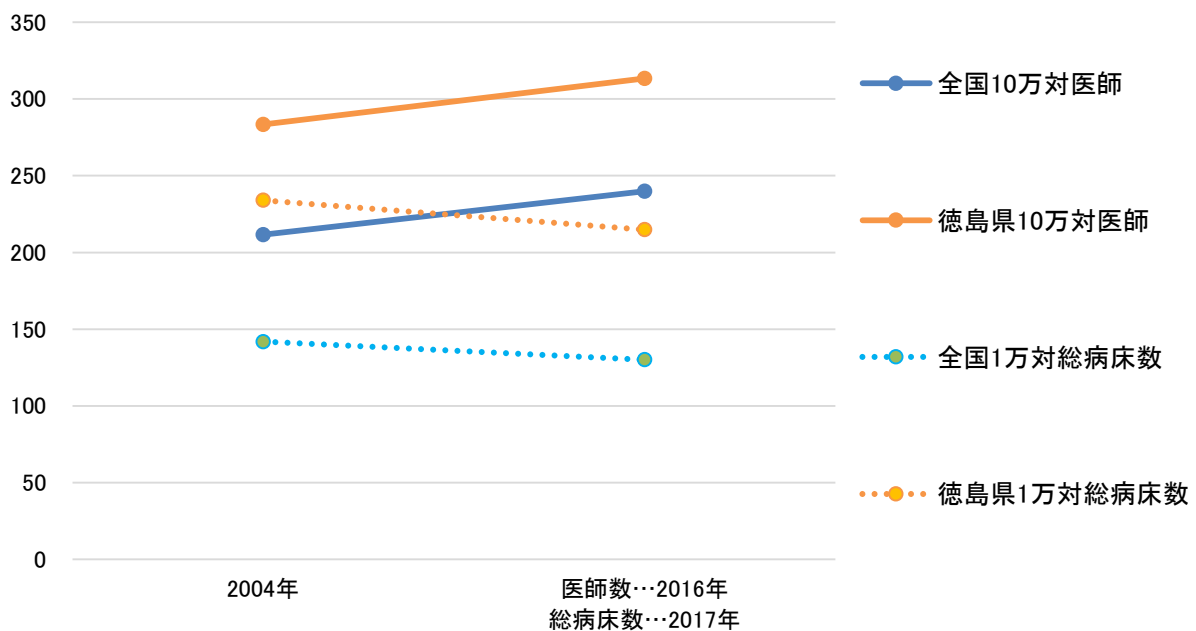
2004年の病院数が123(人口10万人当たり15.2病院(全国平均7.1)偏差値71)であったが、2017年に109(人口10万人当たり14.4病院(全国平均6.6)偏差値67)となり、13年間で14病院が減少した。

2004年の診療所数が791(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2017年に730(人口10万人当たり97診療所(全国平均80)偏差値59)と、61診療所が減少した。

2004年の総病床数が18,952床(人口1万人当たり234(全国平均142)偏差値66)であったが、2017年に16,234床(人口1万人当たり215(全国平均130)偏差値66)と、2,718床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

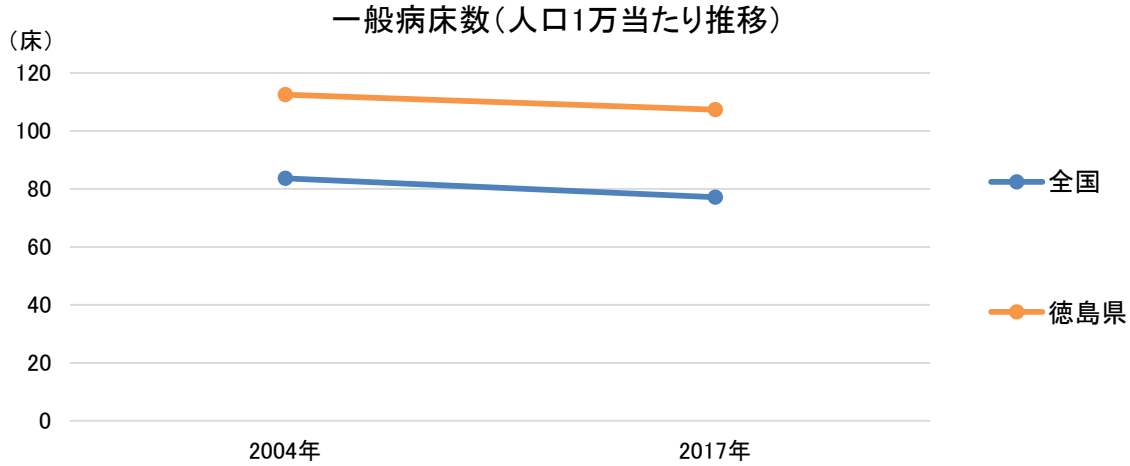
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,296人(人口10万人当たり283人(全国平均212人)偏差値59)であったが、2016年に2,369人(人口10万人当たり313人(全国平均240人)偏差値58)と、73人の増加、率にして3%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



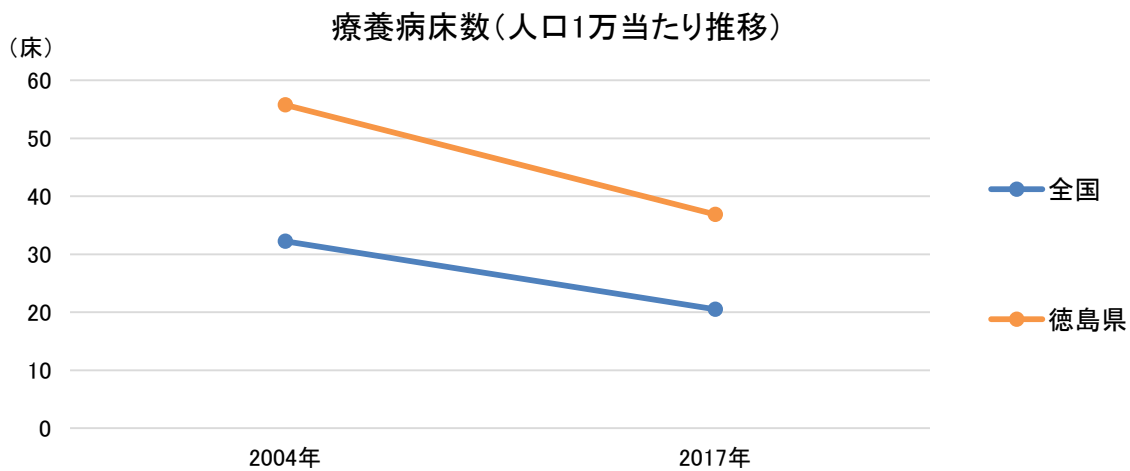
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9,115床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値60)であったが、2017年に8,116床(人口1万人当たり107(全国平均77)偏差値62)と、999床の減少、率にして11%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



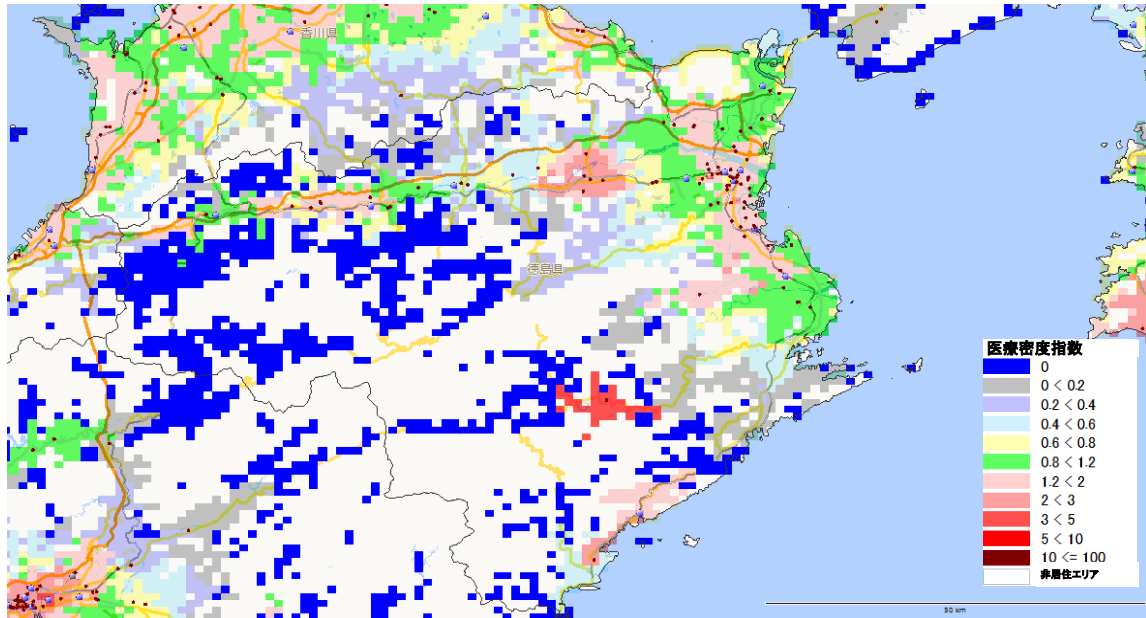
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5,441床(75歳以上1,000人当たり56(全国平均32)偏差値63)であったが、2017年に4,450床(75歳以上1,000人当たり37(全国平均20)偏差値64)と、991床の減少、率にして18%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



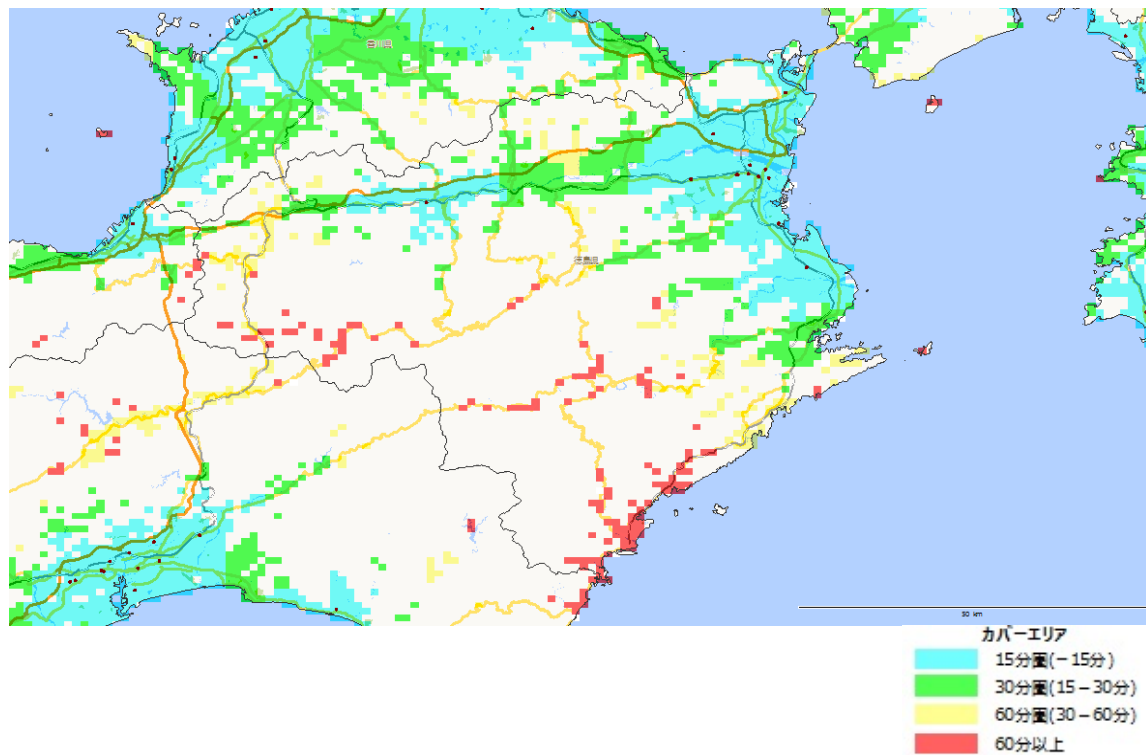
## (徳島県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表36-1 急性期医療密度指数マップ



図表36-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 36-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
徳島県	756	44位	4,147	36位	182.3		31%	688	574	121	143	140	-9%	-17%	18%	-2%
東部	527	70%	1,017	25%	518.5	地方都市型	29%	492	425	76	96	98	-7%	-14%	26%	2%
南部	148	20%	1,724	42%	85.6	過疎地域型	34%	128	100	27	30	26	-14%	-22%	11%	-13%
西部	81	11%	1,406	34%	57.5	過疎地域型	38%	67	49	18	17	16	-17%	-27%	-6%	-6%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資\_図表 36-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
徳島県	1.12	2.27	10,853	11,883	-9.5%
東部	1.23	1.89	6,768	7,959	-17.6%
南部	0.92	2.06	2,263	2,513	-11.1%
西部	0.76	0.84	1,822	1,411	22.6%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日経総研WP no.375) ) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				



資\_図表 36-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
徳島県	395	61	1.098	174	63	1.252	195	54	0.996	292	62
東部	382	58	1.072	162	59	1.175	194	53	1.002	287	60
南部	402	63	1.077	182	66	1.258	193	53	0.950	292	62
西部	468	78	1.240	239	85	1.635	204	59	0.995	315	68
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資\_図表 36-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
徳島県	1,009	58	1.060	536	58	1.121	441	53	1.001
東部	1,036	60	1.089	548	59	1.147	456	57	1.033
南部	932	51	0.989	486	53	1.021	412	46	0.951
西部	1,013	58	1.053	564	61	1.149	422	49	0.964
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資\_図表 36-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
徳島県	109	1.3%	14.4	67	730	0.7%	97	59
東部	72	66%	13.7	65	533	73%	101	61
南部	20	18%	13.5	65	122	17%	83	51
西部	17	16%	21.0	82	75	10%	93	57
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 36-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	101,471		80	(18.9)			74	(18.7)			5.7	(6.0)
徳島県	730	0.7%	97	59	622	0.7%	82	54	108	1.5%	14.3	64
東部	533	73%	101	61	444	71%	84	55	89	82%	16.9	69
南部	122	17%	83	51	115	18%	78	52	7	6%	4.7	48
西部	75	10%	93	57	63	10%	78	52	12	11%	14.8	65
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 36-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数				病院+ 診療所 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,554,879		1,223	(481)			77	(94)			1,301	(537)
徳島県	14,430	0.9%	1,909	64	1,804	1.8%	239	67	16,234	1.0%	2,148	66
東部	10,265	71%	1,947	65	1,477	82%	280	72	11,742	72%	2,227	67
南部	2,360	16%	1,598	58	113	6%	77	50	2,473	15%	1,675	57
西部	1,805	13%	2,231	71	214	12%	265	70	2,019	12%	2,496	72
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 36-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数				精神 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	890,865		701	(223)			256	(203)			261	(210)
徳島県	6,468	0.7%	856	57	4,294	1.3%	568	65	3,608	1.1%	477	60
東部	4,280	66%	812	55	3,292	77%	624	68	2,655	74%	504	62
南部	1,543	24%	1,045	65	538	13%	364	55	271	8%	184	46
西部	645	10%	797	54	464	11%	574	66	682	19%	843	78
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 36-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
徳島県	892	1.1%	118	62	780	1.1%	103	57
東部	738	83%	140	66	495	63%	94	56
南部	132	15%	89	56	157	20%	106	58
西部	22	2%	27	42	128	16%	158	66
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資\_図表 36-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
徳島県	4,677	4,462	50	9,600	2,022	4,088	68.8%	59	1.2%	48
東部	2,851	2,708	0	7,270	1,587	3,133	63.1%	57	0.0%	48
南部	1,426	1,368	50	925	176	491	88.6%	67	9.2%	52
西部	400	386	0	1,405	259	464	59.8%	56	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 36-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
徳島県	14,748	0.4%	1,951	45	5,184	0.6%	686	48
東部	10,488	71%	1,989	46	3,804	73%	722	50
南部	4,008	27%	2,714	48	960	19%	650	47
西部	252	2%	311	39	420	8%	519	42
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

36.徳島県(2018年版)

資\_図表 36-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
徳島県	2,369	0.8%	313	58	1,609	0.8%	213	57	760	0.7%	101	59
東部	1,836	78%	348	62	1,249	78%	237	61	587	77%	111	63
南部	374	16%	253	52	265	16%	179	53	109	14%	74	47
西部	159	7%	197	45	95	6%	117	44	64	8%	79	49
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 36-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
徳島県	205	0.9%	27.1	60	88	0.6%	11.6	52	80	0.7%	10.6	54
東部	167	81%	31.7	65	72	82%	13.7	56	67	84%	12.7	60
南部	26	13%	17.6	50	14	16%	9.5	48	8	10%	5.4	41
西部	12	6%	14.8	47	2	2%	2.5	33	5	6%	6.2	43
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 36-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
徳島県	40	0.7%	5.3	54	68	0.7%	9.0	54	55	0.7%	7.3	55
東部	37	93%	7.0	62	56	82%	10.6	59	47	85%	8.9	61
南部	3	8%	2.0	39	9	13%	6.1	45	7	13%	4.7	45
西部	0	0%	0	30	3	4%	3.7	38	1	2%	1.2	32
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 36-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
徳島県	78	0.8%	10.3	59	140	0.7%	18.5	53	127	0.8%	16.8	58
東部	70	90%	13.3	68	109	78%	20.7	56	102	80%	19.3	64
南部	4	5%	2.7	37	23	16%	15.6	48	20	16%	13.5	51
西部	4	5%	4.9	43	8	6%	9.9	40	5	4%	6.2	35
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 36-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
徳島県	53	0.9%	7.0	61	58	0.9%	7.7	60	52	0.9%	6.9	58
東部	42	79%	8.0	65	48	83%	9.1	66	43	83%	8.2	62
南部	7	13%	4.7	50	7	12%	4.7	48	8	15%	5.4	53
西部	4	8%	4.9	51	3	5%	3.7	43	1	2%	1.2	39
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 36-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
徳島県	55	0.8%	7.3	55	9	0.6%	1.2	49	30	0.8%	4.0	55
東部	43	78%	8.2	58	7	78%	1.3	51	20	67%	3.8	54
南部	8	15%	5.4	49	2	22%	1.4	51	7	23%	4.7	59
西部	4	7%	4.9	48	0	0%	0	37	3	10%	3.7	54
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 36-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ーション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
徳島県	19	0.9%	2.5	57	26	1.0%	3.4	60
東部	16	84%	3.0	61	21	81%	4.0	64
南部	3	16%	2.0	53	4	15%	2.7	55
西部	0	0%	0	37	1	4%	1.2	45
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 36-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
徳島県	9,510	0.8%	1,258	62	7,601	0.8%	1,006	62	1,910	0.8%	253	61
東部	6,736	71%	1,278	63	5,310	70%	1,007	62	1,425	75%	270	63
南部	1,731	18%	1,173	59	1,441	19%	976	60	291	15%	197	53
西部	1,043	11%	1,289	64	850	11%	1,051	63	193	10%	239	59
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 36-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
徳島県	1,499	1.1%	198	66	2,610	0.9%	345	61
東部	1,125	75%	213	68	2,107	81%	400	67
南部	227	15%	154	58	337	13%	228	49
西部	146	10%	181	62	166	6%	205	47
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 36-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
徳島県	146	1.0%	1.2	58	37	2.7%	0.3	82	95	0.9%	0.8	55
東部	109	75%	1.4	63	25	68%	0.3	85	72	76%	1.0	63
南部	24	16%	0.9	51	7	19%	0.3	75	13	14%	0.5	41
西部	13	9%	0.7	46	5	14%	0.3	77	10	11%	0.6	44
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資\_図表 36-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
徳島県	13,038	0.8%	108	52	8,399	0.8%	70	57	4,639	0.7%	38	47
東部	8,596	66%	113	56	5,091	61%	67	55	3,505	76%	46	52
南部	2,458	19%	92	43	1,873	22%	70	57	585	13%	22	37
西部	1,984	15%	109	53	1,435	17%	79	64	549	12%	30	42
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 36-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
徳島県	3,994	1.1%	33	68	3,292	0.6%	27	42	1,113	1.9%	9.2	64
東部	2,595	65%	34	70	1,645	50%	22	36	851	76%	11.2	69
南部	708	18%	26	57	985	30%	37	52	180	16%	6.7	58
西部	691	17%	38	77	662	20%	36	51	82	7%	4.5	52
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 36-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上	偏差値	全国	軽費ホーム	全国	75歳以上	偏差値	全国	グループホーム	全国	75歳以上	偏差値
		シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は
		県内	当り	標準	標準		県内	当り	標準	標準		県内	当り	標準
		シェア		偏差	偏差		シェア		偏差	偏差		シェア		偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)		23,297		1.4	(2.1)		201,436		12.3	(5.8)
徳島県	195	0.1%	1.6	38		30	0.1%	0.2	44		2,229	1.1%	18.5	61
東部	177	91%	2.3	39		0	0%	0	43		1,500	67%	19.8	63
南部	0	0%	0	37		30	100%	1.1	49		360	16%	13.4	52
西部	18	9%	1.0	38		0	0%	0	43		369	17%	20.3	64
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの													

資\_図表 36-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)	全国	75歳以上	偏差値	全国	サ高住(特定施設)	全国	75歳以上	偏差値	全国	サ高住(非特定施設)	全国	75歳以上	偏差値
		シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は
		県内	当り	標準	標準		県内	当り	標準	標準		県内	当り	標準
		シェア		偏差	偏差		シェア		偏差	偏差		シェア		偏差
全国	231,875		14.2	(7.0)		22,090		1.4	(1.8)		209,785		12.9	(6.8)
徳島県	2,185	0.9%	18.1	56		0	0.0%	0	43		2,185	1.0%	18.1	58
東部	1,828	84%	24.1	64		0		0	43		1,828	84%	24.1	67
南部	195	9%	7.3	40		0		0	43		195	9%	7.3	42
西部	162	7%	8.9	42		0		0	43		162	7%	8.9	44
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					

資\_図表 36-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国	75歳以上	偏差値	全国	看護師数(施設)	全国	75歳以上	偏差値	全国	看護師数(訪問)	全国	75歳以上	偏差値
		シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は
		県内	当り	標準	標準		県内	当り	標準	標準		県内	当り	標準
		シェア		偏差	偏差		シェア		偏差	偏差		シェア		偏差
全国	171,768		10.5	(2.3)		120,155		7.4	(2.0)		51,613		3.2	(1.1)
徳島県	1,793	1.0%	14.9	69		1,412	1.2%	11.7	72		381	0.7%	3.2	50
東部	1,213	68%	16.0	74		924	65%	12.2	74		289	76%	3.8	56
南部	307	17%	11.4	54		252	18%	9.4	60		55	14%	2.1	40
西部	273	15%	15.0	70		237	17%	13.1	79		36	9%	2.0	39
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの													



資\_図表 36-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)				介護職員数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
徳島県	11,946	0.8%	99	55	9,903	0.8%	82	53	2,043	0.9%	16.9	56
東部	7,724	65%	102	58	6,220	63%	82	53	1,504	74%	19.9	61
南部	2,475	21%	92	50	2,152	22%	80	51	323	16%	12.0	47
西部	1,747	15%	96	53	1,531	15%	84	55	216	11%	11.9	47
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 36-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
徳島県	7,741	0.6%	64	47	2,681	0.5%	22	43	13,044	1.1%	108	63
東部	5,754	74%	76	50	1,866	70%	25	45	9,798	75%	129	71
南部	1,341	17%	50	43	320	12%	12	35	1,825	14%	68	48
西部	646	8%	36	39	495	18%	27	47	1,421	11%	78	51
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 36-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
徳島県		809,950	755,733	-7%	687,680	-15%	5%	0%	4%
東部	地方都市型	549,240	527,175	-4%	492,205	-10%	8%	3%	11%
南部	過疎地域型	164,694	147,656	-10%	128,465	-22%	1%	-5%	-4%
西部	過疎地域型	96,016	80,902	-16%	67,010	-30%	-7%	-10%	-17%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資\_図表 36-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
徳島県	123	15.2	71	109	14.4	67	-14	-11%
東部	81	14.7	70	72	13.7	65	-9	-11%
南部	21	12.8	65	20	13.5	65	-1	-5%
西部	21	21.9	88	17	21.0	82	-4	-19%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 36-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
徳島県	791	98	61	730	97	59	-61	-8%
東部	554	101	62	533	101	61	-21	-4%
南部	143	87	55	122	83	51	-21	-15%
西部	94	98	61	75	93	57	-19	-20%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 36-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
徳島県	2,296	283	59	2,369	313	58	73	3%
東部	1,708	311	62	1,836	348	62	128	7%
南部	392	238	53	374	253	52	-18	-5%
西部	196	204	49	159	197	45	-37	-19%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 36-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
徳島県	18,952	234	66	16,234	215	66	-2,718	-14%
東部	13,320	243	68	11,742	223	67	-1,578	-12%
南部	2,933	178	56	2,473	167	57	-460	-16%
西部	2,699	281	75	2,019	250	72	-680	-25%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 36-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
徳島県	9,115	113	60	8,116	107	62	-999	-11%
東部	6,056	110	59	5,667	107	62	-389	-6%
南部	1,999	121	63	1,624	110	63	-375	-19%
西部	1,060	110	59	825	102	60	-235	-22%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 36-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

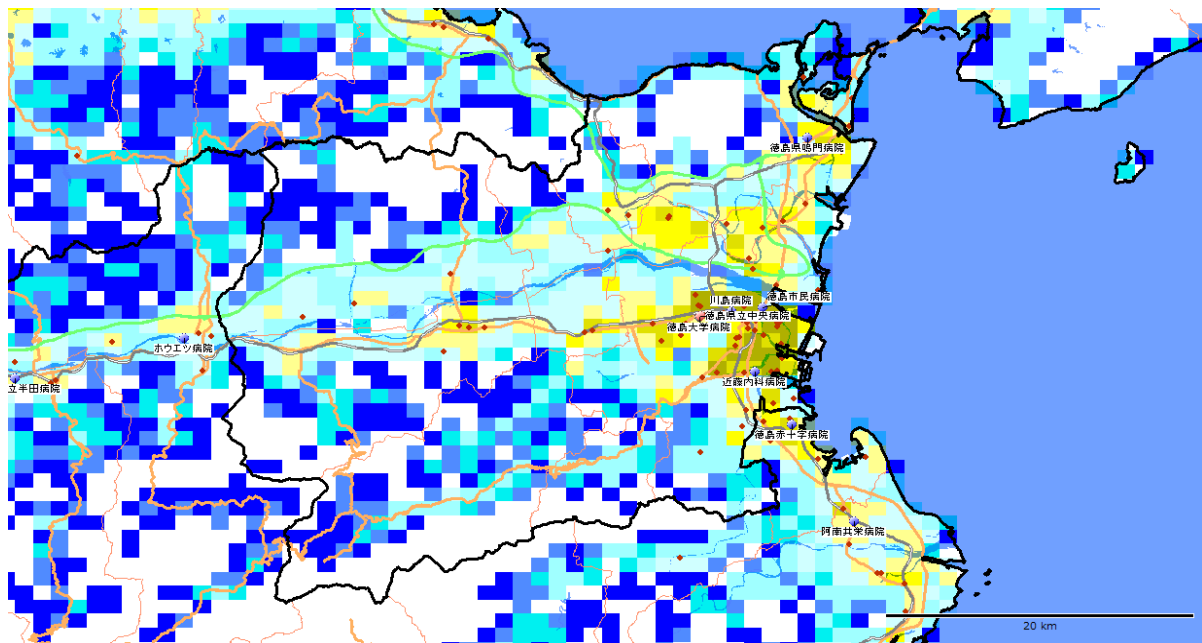
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
徳島県	5,441	56	63	4,450	37	64	-991	-18%
東部	4,101	70	71	3,382	45	71	-719	-18%
南部	618	28	47	570	21	51	-48	-8%
西部	722	44	56	498	27	56	-224	-31%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

# 36-1. とうぶ 東部医療圏

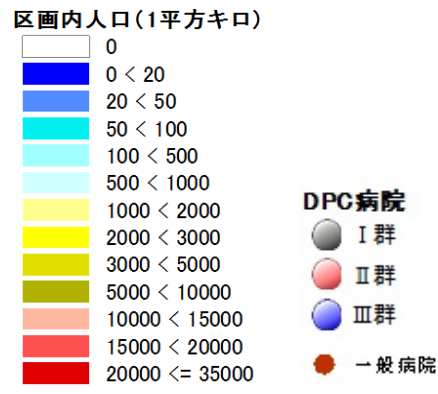
構成市区町村 [徳島市](#) [鳴門市](#) [吉野川市](#) [阿波市](#)  
[佐那河内村](#) [石井町](#) [神山町](#) [松茂町](#)  
[北島町](#) [藍住町](#) [板野町](#) [上板町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



## (東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 東部(徳島市)は、総人口約527千人(2015年)、面積1,017km<sup>2</sup>、人口密度は519人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 東部の総人口は2025年に492千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に425千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の76千人が、2025年にかけて96千人へと増加し(2015年比+26%)、2040年には98千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は382千円(偏差値58)、介護給付費は287千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数は1.23、一人当たり慢性期医療密度指数は1.89で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が62(病院医師数61、診療所医師数63)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は63と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の徳島県立中央病院(Ⅱ群・救命)、徳島大学病院(Ⅰ群)、1000例以上の徳島県鳴門病院(Ⅲ群)、徳島市民病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は68と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値68と非常に多く、回復期病床数は偏差値66と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は62で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8,596人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,091床(偏差値55)、高齢者住宅等が3,505床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,220人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設70、特別養護老人ホーム36、介護療養型医療施設69、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム63、サ高住64である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値63と多く、在宅療養支援病院は偏差値85と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、1,504人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (東部医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

東部医療圏の総人口は、2005年549,240人が、2015年に527,175人と4%減少し、2025年の人口が492,205人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

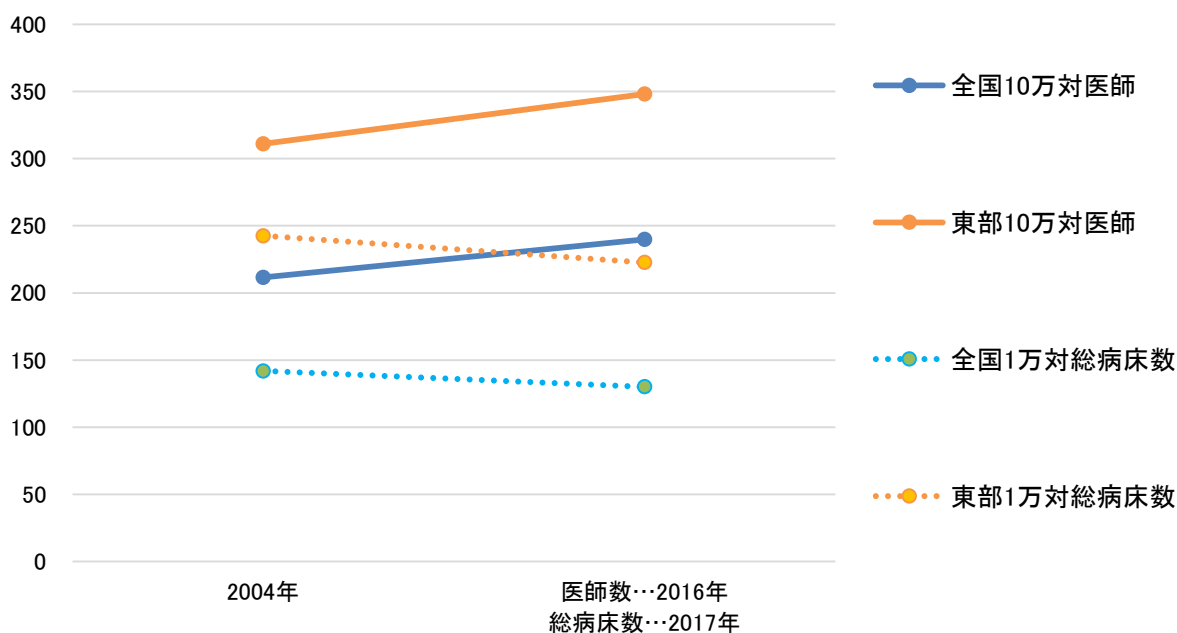
2004年の病院数が81(人口10万人当たり14.7病院(全国平均7.1)偏差値70)であったが、2017年に72(人口10万人当たり13.7病院(全国平均6.6)偏差値65)となり、13年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が554(人口10万人当たり101診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2017年に533(人口10万人当たり101診療所(全国平均80)偏差値61)と、21診療所が減少した。

2004年の総病床数が13,320床(人口1万人当たり243(全国平均142)偏差値68)であったが、2017年に11,742床(人口1万人当たり223(全国平均130)偏差値67)と、1,578床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

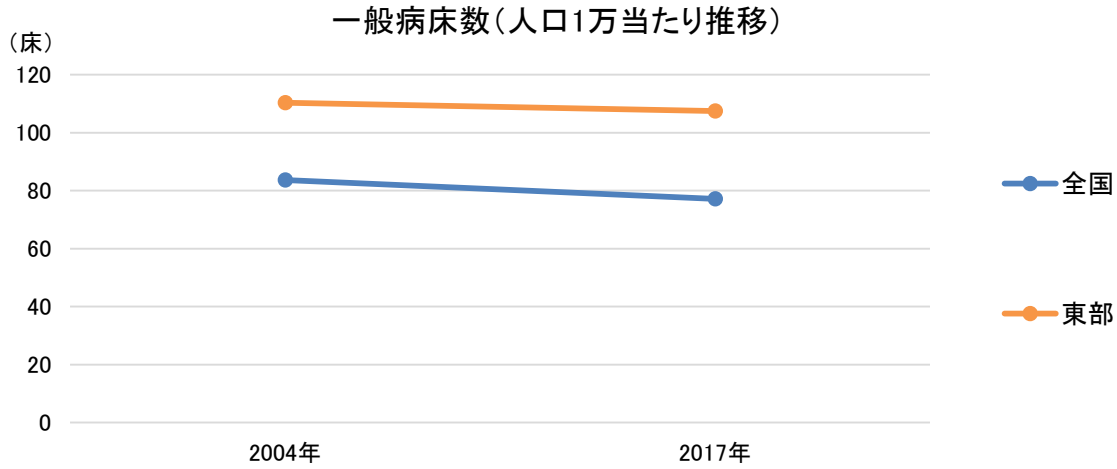
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,708人(人口10万人当たり311人(全国平均212人)偏差値62)であったが、2016年に1,836人(人口10万人当たり348人(全国平均240人)偏差値62)と、128人の増加、率にして7%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



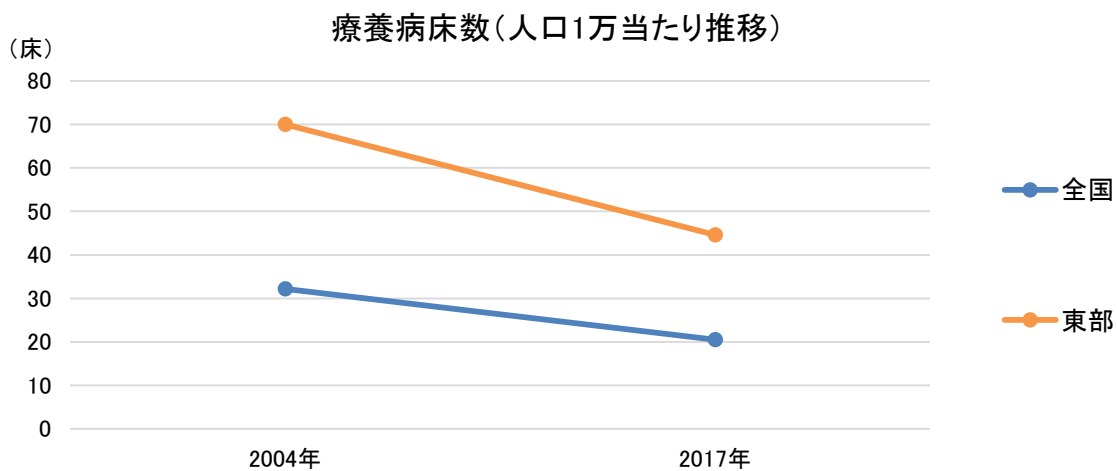
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6,056床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2017年に5,667床(人口1万人当たり107(全国平均77)偏差値62)と、389床の減少、率にして6%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



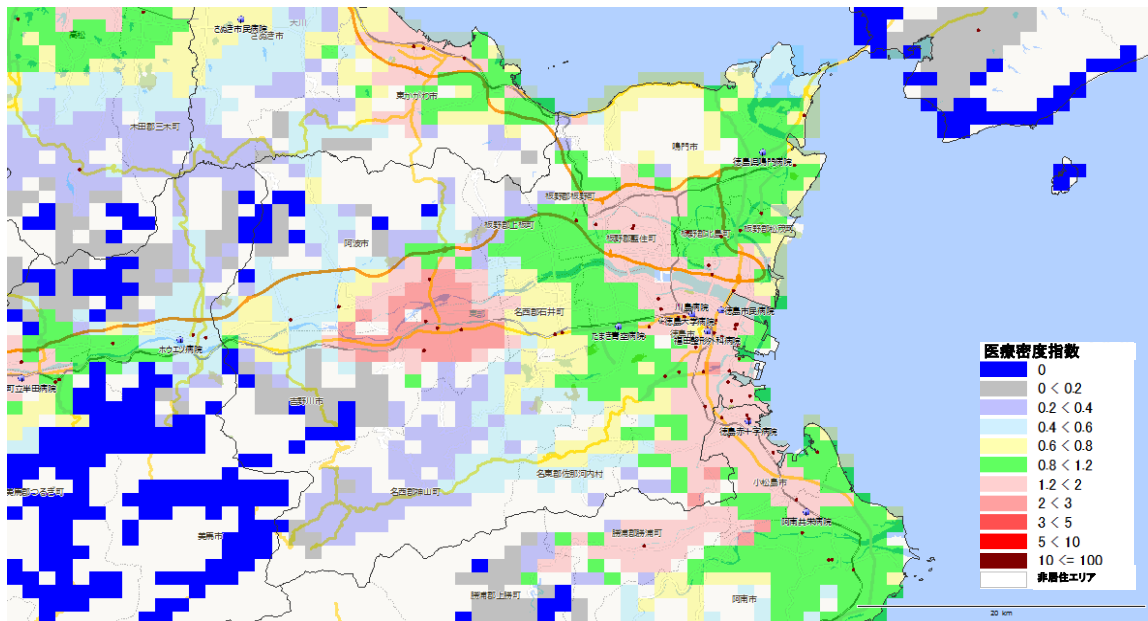
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4,101床(75歳以上1,000人当たり70(全国平均32)偏差値71)であったが、2017年に3,382床(75歳以上1,000人当たり45(全国平均20)偏差値71)と、719床の減少、率にして18%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



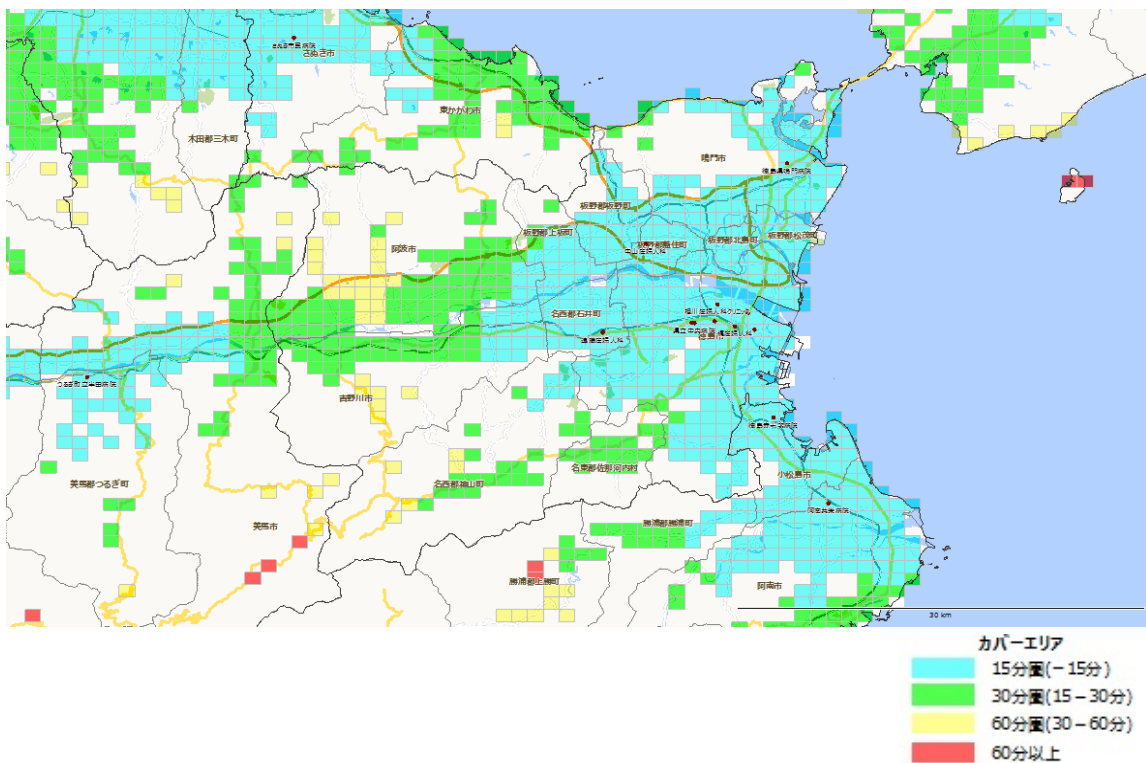
(東部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表36-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表36-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



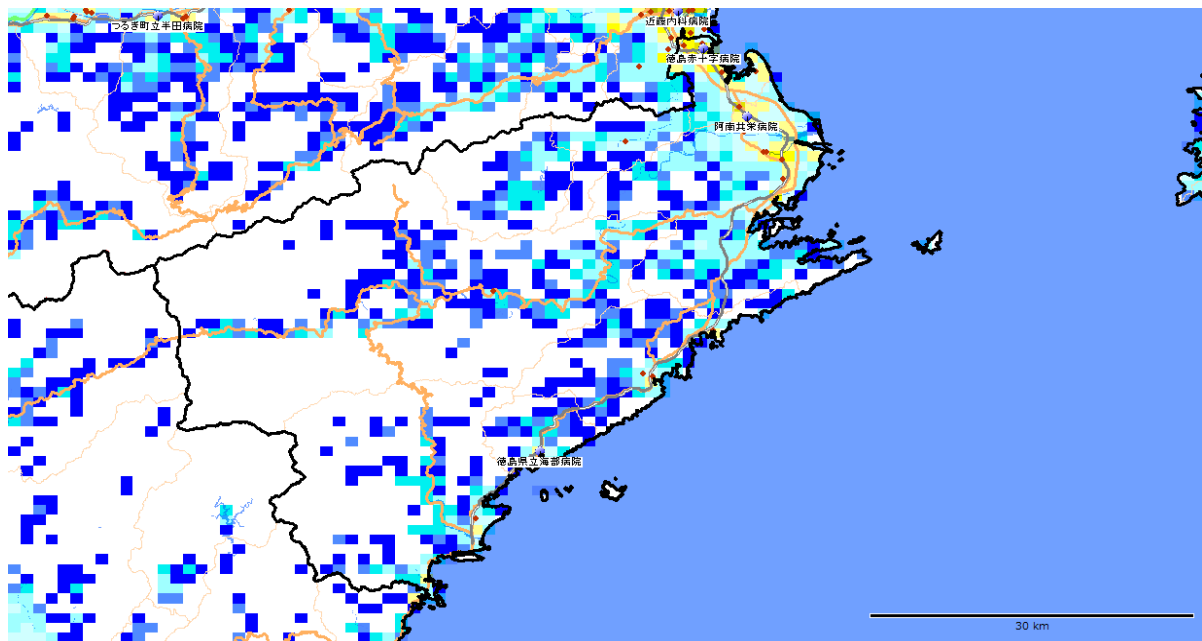


## 36-2. なんぶ南部医療圏

構成市区町村 [小松島市](#) [阿南市](#) [勝浦町](#) [上勝町](#)  
[那賀町](#) [牟岐町](#) [美波町](#) [海陽町](#)

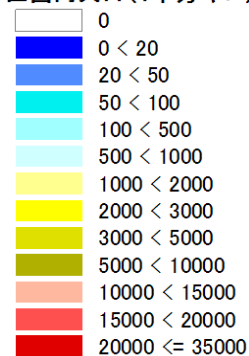
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

## (南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 南部(小松島市)は、総人口約148千人(2015年)、面積1,724km<sup>2</sup>、人口密度は86人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に128千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に100千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて30千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には26千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は402千円(偏差値63)、介護給付費は292千円(偏差値62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数は0.92、一人当たり慢性期医療密度指数は2.06で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が52(病院医師数53、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は59と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は65で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の徳島赤十字病院(Ⅱ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,458人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,873床(偏差値57)、高齢者住宅等が585床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,152人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設58、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム49、グループホーム52、サ高住40である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値75と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、323人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (南部医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年164,694人が、2015年に147,656人と10%減少し、2025年の人口が128,465人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

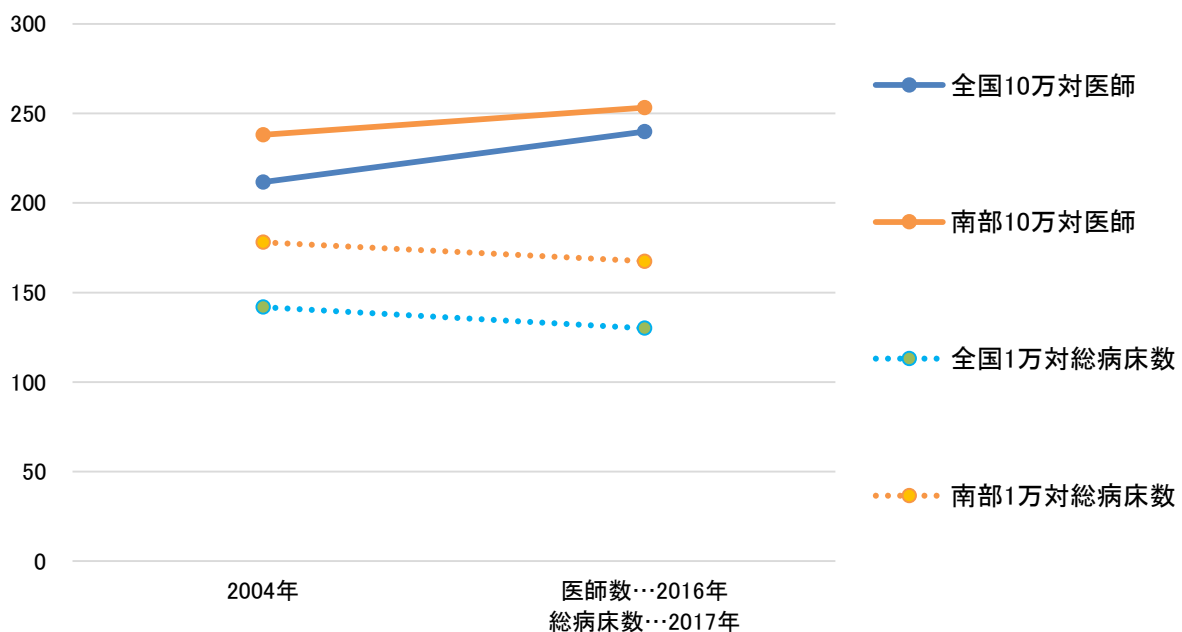
2004年の病院数が21(人口10万人当たり12.8病院(全国平均7.1)偏差値65)であったが、2017年に20(人口10万人当たり13.5病院(全国平均6.6)偏差値65)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が143(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2017年に122(人口10万人当たり83診療所(全国平均80)偏差値51)と、21診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,933床(人口1万人当たり178(全国平均142)偏差値56)であったが、2017年に2,473床(人口1万人当たり167(全国平均130)偏差値57)と、460床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

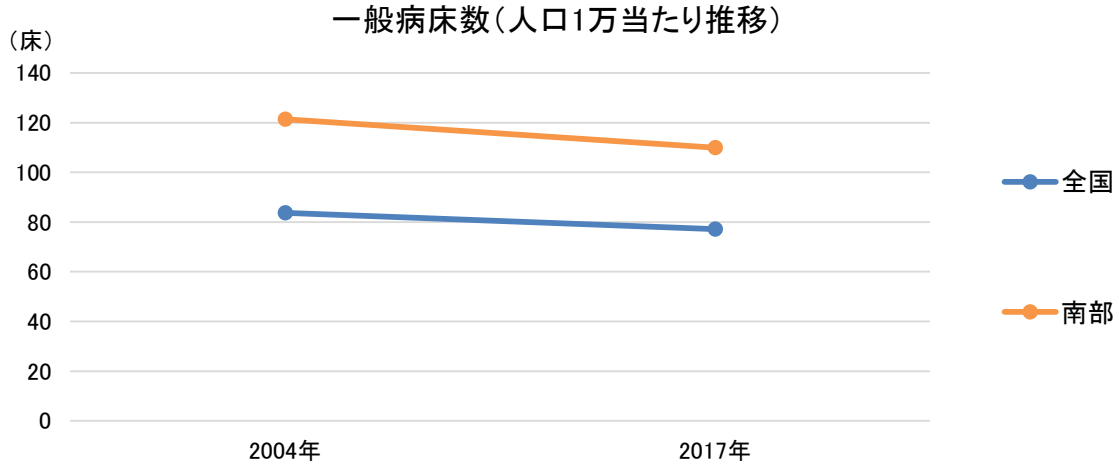
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が392人(人口10万人当たり238人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2016年に374人(人口10万人当たり253人(全国平均240人)偏差値52)と、18人の減少、率にして5%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



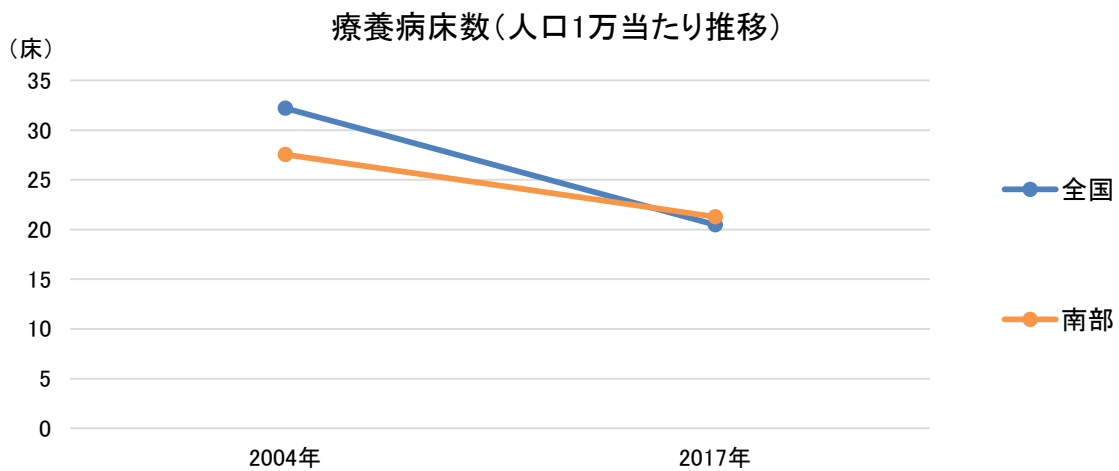
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,999床(人口1万人当たり121(全国平均84)偏差値63)であったが、2017年に1,624床(人口1万人当たり110(全国平均77)偏差値63)と、375床の減少、率にして19%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



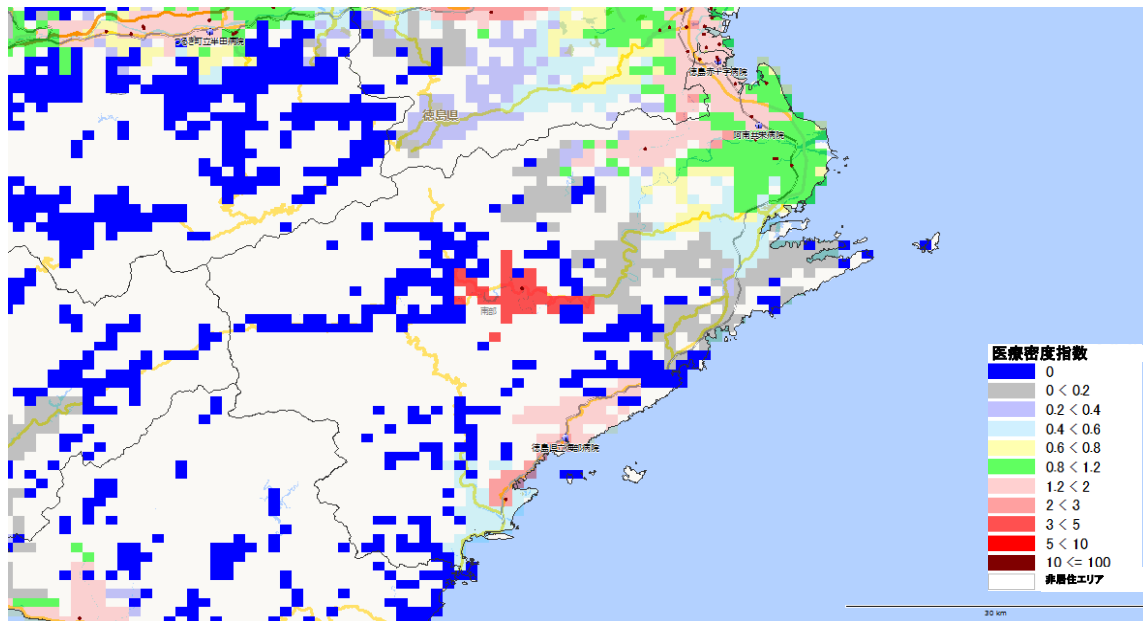
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が618床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均32)偏差値47)であったが、2017年に570床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均20)偏差値51)と、48床の減少、率にして8%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



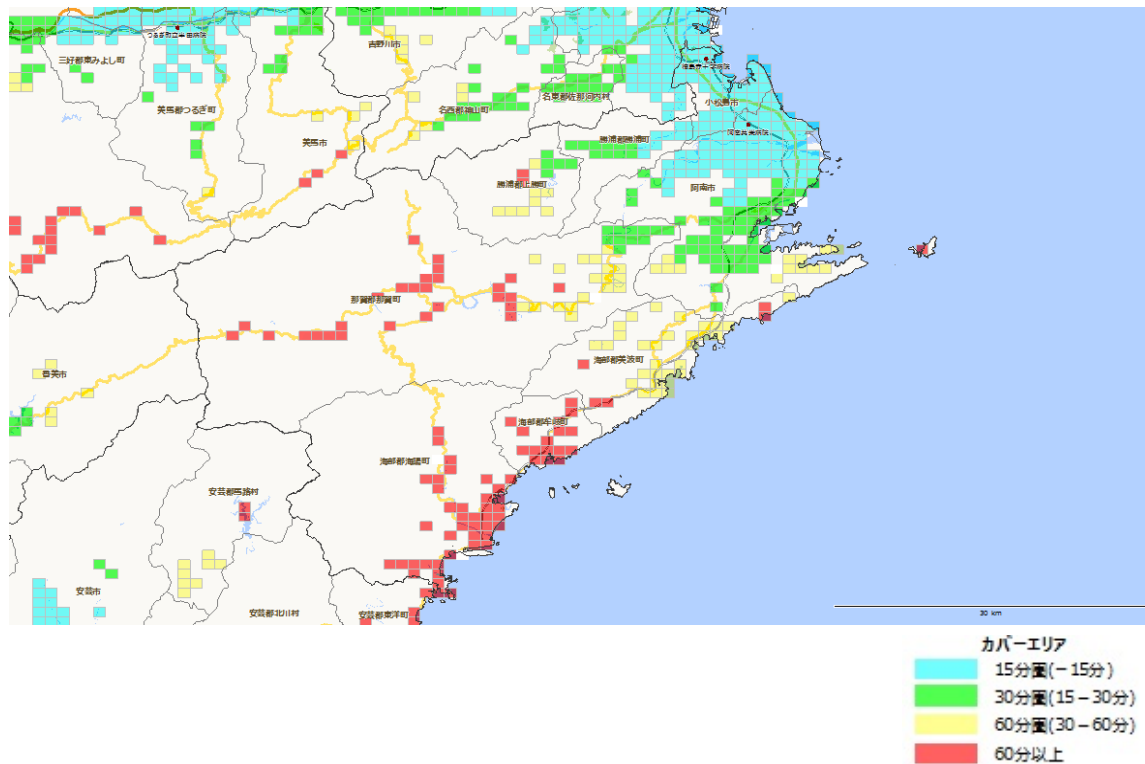
## (南部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表36-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表36-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

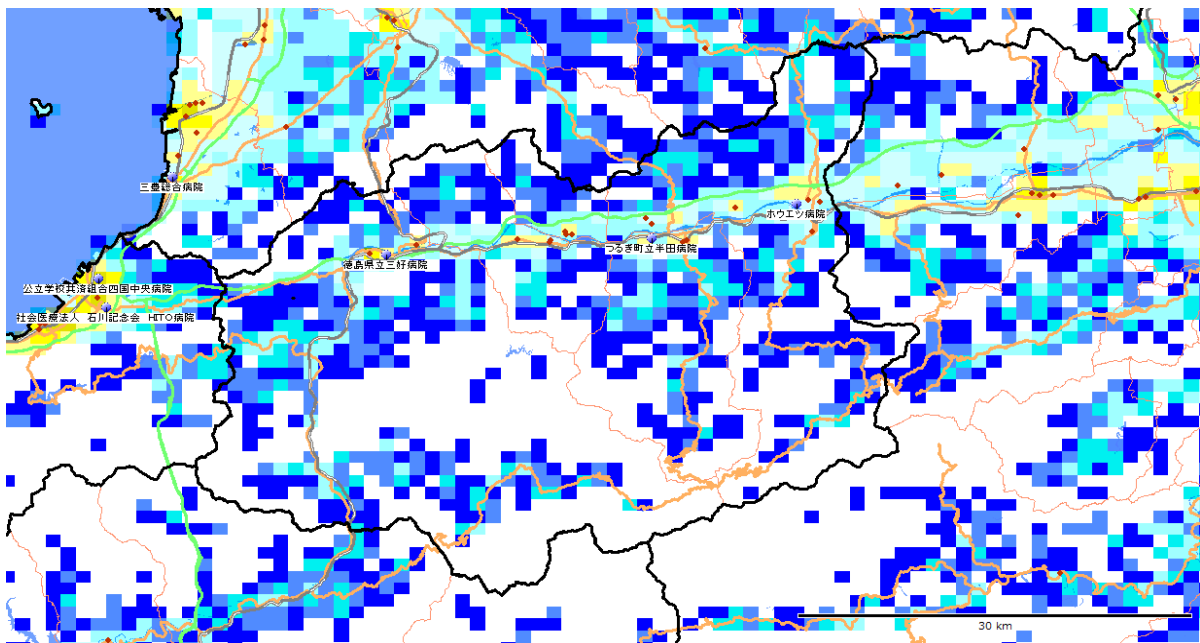


# 36-3. せいぶ西部医療圏

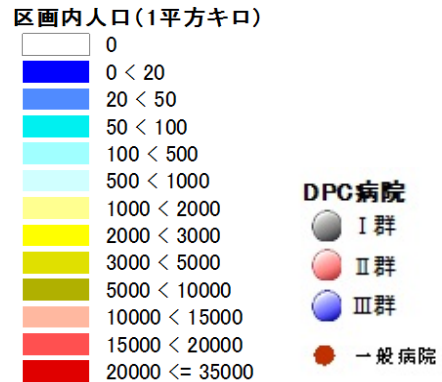
構成市区町村 [美馬市](#) [三好市](#) [つるぎ町](#) [東みよし町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



## (西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：西部(美馬市)は、総人口約81千人(2015年)、面積1,406km<sup>2</sup>、人口密度は58人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：西部の総人口は2025年に67千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に49千人へと減少する(2025年比-27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて17千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年には16千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は468千円(偏差値78)、介護給付費は315千円(偏差値68)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数は0.84で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が45(病院医師数44、診療所医師数49)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は64と多い。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。西部には、年間全身麻酔件数が500例以上の徳島県立三好病院(Ⅲ群・救命)がある。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は66と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状：総療法士数は偏差値62と多く、回復期病床数は偏差値42と少ない。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は78で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,984人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,435床(偏差値64)、高齢者住宅等が549床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,531人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設77、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム64、サ高住42である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値77と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、216人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数は+23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (西部医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

西部医療圏の総人口は、2005年96,016人が、2015年に80,902人と16%減少し、2025年の人口が67,010人と予測され、2005年→2025年の間に30%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%減少し、2015年から2025年にかけて10%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

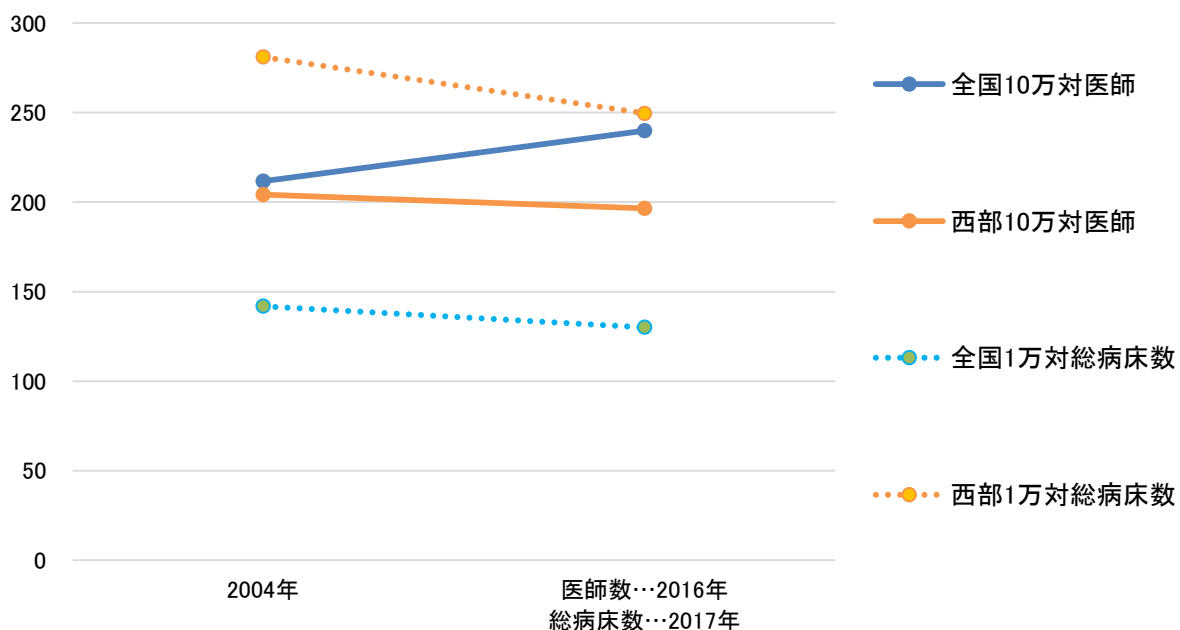
2004年の病院数が21(人口10万人当たり21.9病院(全国平均7.1)偏差値88)であったが、2017年に17(人口10万人当たり21病院(全国平均6.6)偏差値82)となり、13年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が94(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2017年に75(人口10万人当たり93診療所(全国平均80)偏差値57)と、19診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,699床(人口1万人当たり281(全国平均142)偏差値75)であったが、2017年に2,019床(人口1万人当たり250(全国平均130)偏差値72)と、680床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が196人(人口10万人当たり204人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2016年に159人(人口10万人当たり197人(全国平均240人)偏差値45)と、37人の減少、率にして19%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

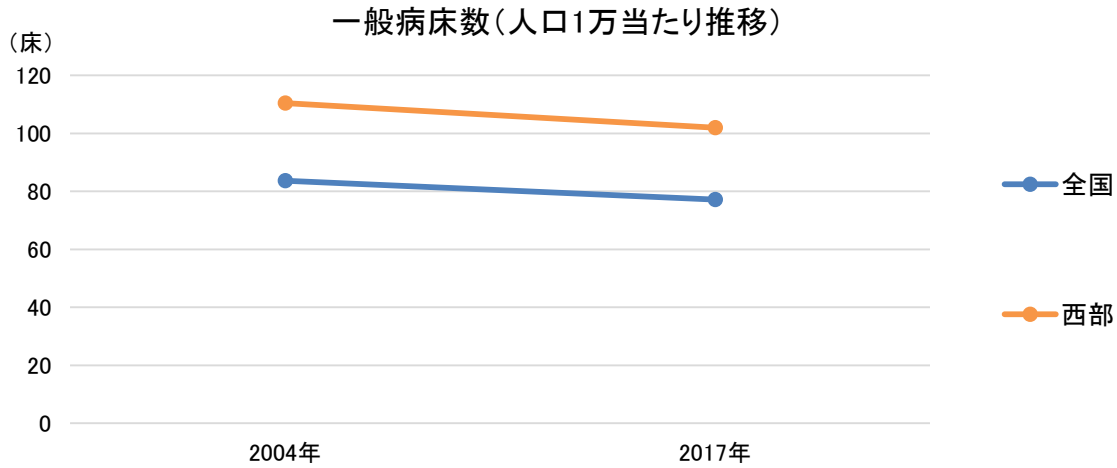
人口当たり医師数・総病床数の推移





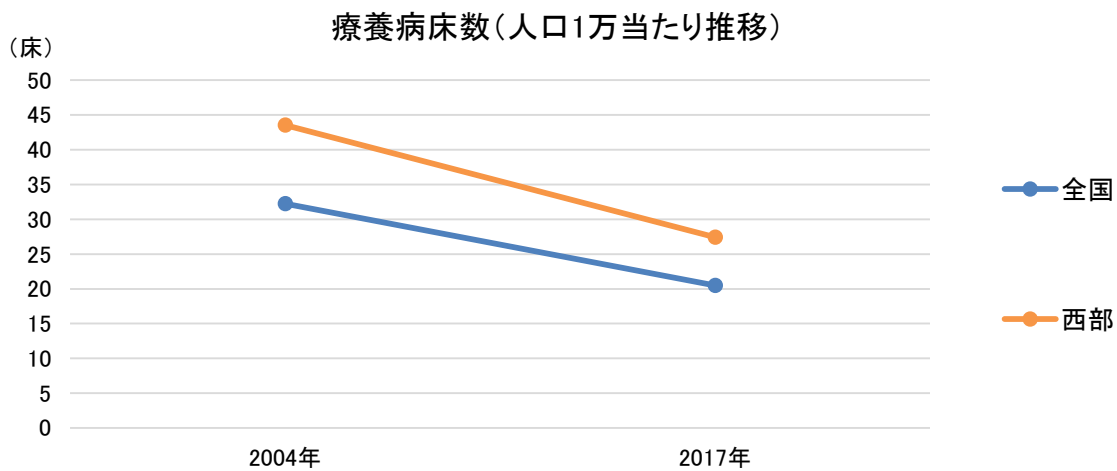
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,060床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2017年に825床(人口1万人当たり102(全国平均77)偏差値60)と、235床の減少、率にして22%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



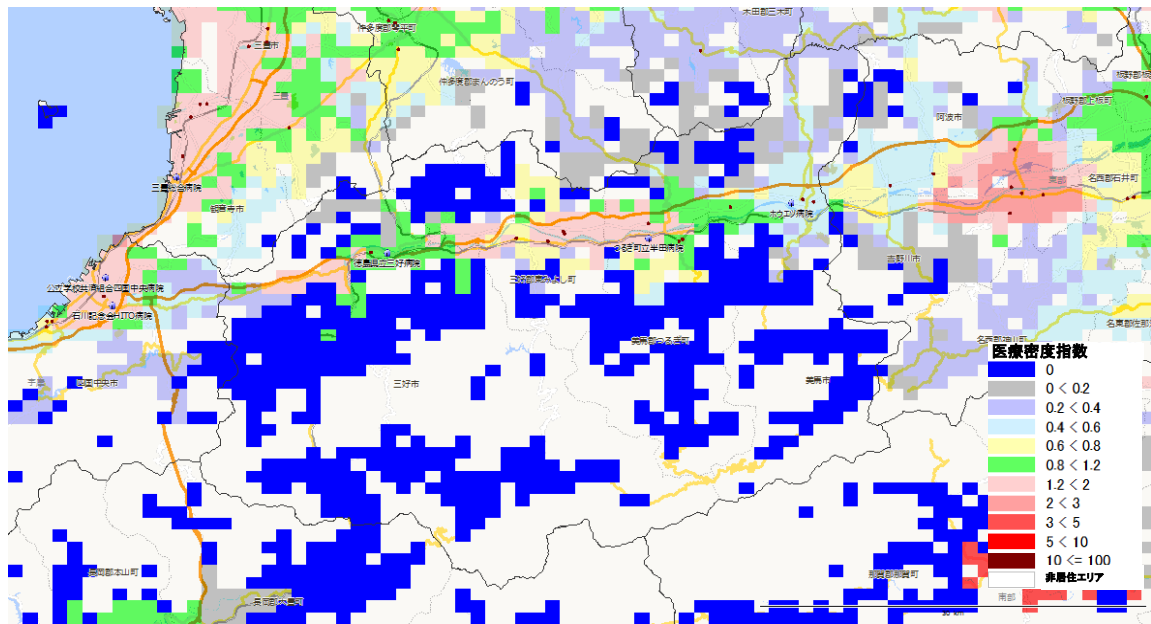
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が722床(75歳以上1,000人当たり44(全国平均32)偏差値56)であったが、2017年に498床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均20)偏差値56)と、224床の減少、率にして31%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



(西部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表36-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表36-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

